

# MS&AD Report

通期ご報告 2013.4.1 ▶ 2014.3.31

## CONTENTS

- 1 2013年度通期 ビジネスレビュー
- 3 **TOP MESSAGE**
- 5 MS&ADインシュアランス グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」
- 9 業績ダイジェスト（2013年度通期）
- 11 MS&ADインシュアランス グループの機能別再編に関する新聞広告
- 12 トピックス
- 13 会社概要／役員／株式の状況
- 14 株主メモ

# 2013年度通期 ビジネスレビュー

♣ MS&ADインシュアランス グループ  
 ◆ 損害保険 ♥ 生命保険

## ◆ あいおいニッセイ同和損保

### eco保険証券にベルマーク点数を5点追加

当社はベルマーク協賛会社として、2000年4月からベルマーク運動に参加し、「TOUGH (タフ)」シリーズをはじめとする商品にベルマークを付帯しています。

さらに、自動車保険では2013年10月、「タフ・住まいの保険」では2014年7月のご契約より、環境保護にもつながるeco保険証券を選択のお客さまに、ベルマーク点数の5点追加を開始しました。

今後も、当社商品ブランド「TOUGH」のコンセプトでもある「優しい」活動（社会貢献活動）に積極的に取り組みます。



## ♣ MS&ADインシュアランスグループ

### 機能別再編に関する合意書を締結

9月27日、MS&ADホールディングス、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保および三井住友海上あいおい生命は、「機能別再編に関する合意書」を締結し、その内容を公表しました。

2013年

4月

8月

9月

12月

## ♥ 三井住友海上プライマリー生命

### 保有契約件数50万件を突破

金融機関代理店を通じて個人年金保険や終身保険を販売するビジネスモデルで順調に事業を拡大し、12月末に保有契約件数が50万件を突破しました。外貨建て定額終身保険「しあわせ、ずっと」が好評なことに加え、10月に販売を開始した円建ての変額終身保険「かがやき、つづく」が多くの金融機関で販売されるなど、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスの提供に努めています。



## ♥ 三井住友海上あいおい生命

### 新医療保険A（エース）を発売し、申込件数が10万件を突破

12月2日より「&LIFE」シリーズの「新医療保険A（エース）<低・無解約返戻金選択型医療保険 無配当>」を発売し、2014年4月には販売開始からの申込件数が10万件を突破しました。短期の入院から長期にわたる入院まで充実した保障をご準備いただける主契約に加え、ガンや三大疾病の際の一時金保障、ガン治療のための通院保障、女性疾病保障など8つの特約をご用意。お客さまのニーズにより選択可能な商品性やその内容が高く評価されました。



## ◆ 三井住友海上

### ジェネラル社、アクサCS社と戦略的提携

2014年3月、イタリア最大の保険会社であるジェネラル社、およびフランス最大の保険グループであるアクサの大企業専門保険会社アクサコーポレートソリューションズ社と、保険事業の提携について合意しました。

いずれの提携も、世界トップ水準の保険会社である当社と提携各社が、それぞれが持つ地域ネットワークを相互活用し、補完関係の構築を図るものです。

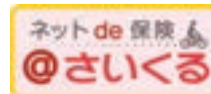
今後もその他の地域や事業分野での提携強化について協議を継続し、さらなるネットワークの拡大を目指します。

## ◆ 三井住友海上

### 自転車向け保険「@さいくる」を販売開始

2014年4月からインターネットで加入できる自転車向け保険「@さいくる」の販売を開始しました。手続きの手軽さと、自転車利用者のニーズに合わせたわかりやすい補償内容が特長です。

自転車の加害事故等による賠償責任を最大1億円まで補償するほか、示談交渉サービスも利用できるなど、自転車を利用する皆さまに安心・安全を提供します。



## ◆ 三井住友海上・あいおいニッセイ同和損保

### グループ2社による初の共同開発商品

「海外危機管理費用保険」の販売開始（2014年4月から）

2014年

2月

3月

## ◆ 三井ダイレクト損保

### 新しい自動車事故対応システム「JTS」を導入

三井ダイレクト損保では、先進的で高品質な保険サービスの提供と業務の効率化を目指して、新しい自動車事故対応システム「JTS（ジェッツ）」を2月に導入しました。

本システムは、お客さまへのタイムリーな経過報告をサポートする「進捗状況の見える化」を実現する等、お客さま対応品質の向上につながる機能を備えており、事故サービス拠点と事故受付センターでの利用を開始しています。



## ◆ あいおいニッセイ同和損保

### 2013年度「ダイバーシティ経営企業100選」表彰企業に選定されました!

「ダイバーシティ経営企業100選」は、女性、高齢者、外国人、障がい者、さまざまなキャリア経験者等、多様な人材の能力を最大限発揮させることにより、イノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業を、経済産業省が表彰するものです。当社は、ダイバーシティ推進を経営課題とし、女性活躍推進などを積極的に実施してきました。今後も「全社員がいきいきと働ける会社」を実現するため、積極的にダイバーシティの推進に取り組んでいきます。



## ■ 当社グループについて

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

「立ちどまらない保険。」に込めた想い

MS&ADインシュアランスグループは、保険業界における、もっとも果敢なチャレンジャーであり続けたいという決意を、「立ちどまらない保険。」というグループスローガンに込めています。

(主な保険事業会社)

MS&AD

MS&ADホールディングス

MS&AD 三井住友海上

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

MS&AD 三井ダイレクト損保

MS&AD 三井住友海上あいおい生命

MS&AD 三井住友海上プライマリー生命



三井ダイレクト損保の自動車保険



## TOP MESSAGE

## 持続的成長と企業価値向上を追い続ける 世界トップ水準の保険・金融グループを創造します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年6月23日付で、代表取締役社長に就任いたしました柄澤康喜でございます。

ここに2013年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで）のご報告をお届けします。

昨年度のわが国経済は、「アベノミクス」が進展し、株価上昇等を背景に企業収益が改善するとともに、消費者マインドの持ち直し等により、着実に景気回復への軌道を歩み始めていることが実感できた1年でした。

また世界経済は、米国では緩やかな景気回復が持続しており、欧州でも底打ちの兆しが見え始めているものの、新興国経済の減速やウクライナ情勢等の懸念材料も存在しております。

一方で、9月に発生した台風18号、2月の関東地方を中心とした大雪や、また海外ではフィリピンのレイテ島を襲った台風30号など、国内外を問わず、大規模な自然災害に見舞われました。被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは、2010年4月のグループ発足後、中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」を掲げ、その達成に向けてこの4年間邁進してまいりました。その間の弊社を取り巻く事業環境は厳し

いものでありましたが、品質向上を通じた「持続的な成長の実現」とグループの総合力を結集した「グループシナジーの追求」などを通じて、企業価値の向上とグループ基盤の整備を着実に進め、最終年度を締めくくることができました。

この結果、2013年度の連結業績では、損保の正味収入保険料は2兆8,095億円と前期比1,701億円の大幅増収となりました。要因としましては国内損保主要2社ともに火災保険が住宅販売市場の好調を背景に大幅に増収し、また自動車保険も新車販売の好調や料率改定効果もあり引き続き増収するなど、全ての種目で増収を達成しました。成長分野でもある生保、海外事業とも業績は着実に拡大しております。

当期経常利益は、2月の大雪による多額の損害が発生したものの、それ以外の保険金の減少や事業費の削減取り組みによる効果、また市場環境の改善による有価証券評価損の減少などにより、前期比399億円増加の1,902億円となりました。当期純利益は、前期比98億円増加し、934億円となり、グループ発足以来の最高益となりました。

当社グループでは、これまで培った基盤のもと、更なる発展を目指して新たな中期経営計画である「Next Challenge 2017」を策定し、新年度をス

タートしています。（詳細はP5～8をご参照ください。）「Next Challenge 2017」では、機能別再編を着実にやり遂げ、併せてグループガバナンスの強化とERM経営の推進を基本戦略としてまいります。

機能別再編につきましては、既に本部機能の再編を実施しており、4月からマリン・航空分野と第三分野長期契約の再編がスタートしています。過去には例がない全く新しいスタイルによる再編となりますが、当社グループは、グループ各社の特色・強みを活かし、スピード感を持って持続的な「成長」と「効率化」を同時に実現し、世界トップ水準の保険・金融グループを目指してまいります。

なお、2014年度は、1株あたりの配当を2円増配し、年間58円へ引き上げさせていただく予定です。

また株主還元の一環として、2014年5月21日から2014年9月19日を取得期間として、100億円および550万株を上限に自己株式の取得を決定しております。

最後に、前社長が今まで築きあげた基盤を引き継ぎ、新経営体制のもと、引き続きスピード感を持って役職員一致協力し、当社グループの発展に全力で尽す所存でありますことを、改めてお約束させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 6月

取締役社長

柄澤康喜

## MS&ADインシュアランス グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」

### 世界トップ水準の保険・金融グループの実現に向けて

MS&ADインシュアランス グループでは、2014年度から2017年度を計画期間とする、グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」を策定しました。

この期間を「統合の進化・発展期間」と位置づけ、世界トップ水準の保険・金融グループの実現に向け、グループの総合力を結集し目標の達成に向け取り組んでまいります。

#### ■グループ基本戦略

成長の持続、健全性の確保、および収益性と資本効率の向上を基軸に、グループ全体としての企業価値を拡大させていきます。

##### 推進ドライバー

- 機能別再編の完遂
- グループガバナンスの強化とERM<sup>(※1)</sup>経営の推進
- 環境変化に合わせた事業構造の変革
- プロフェッショナルとしてチャレンジする企業文化の浸透と人財の育成

##### 機能別再編の完遂

業界初のビジネスモデルにチャレンジする「機能別再編」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井住友海上あいおい生命および持株会社を中心となってやり遂げ、成長と効率化を同時実現し、目指す目的を達成します。

##### グループ保険会社

●経済成長を戦略的に取り込み、**不断の品質向上取組み、特長・強みを活かした成長戦略**による**お客さま支持の拡大**および**収益改善取組みの推進**により、持続的成長を実現します。

##### 関連事業会社

●**統合シナジーの本格発揮**により、現状を超える水準で各々の役割を果たすための態勢・基盤を整備します。

##### 持株会社

●グループ会社に対する**経営管理態勢を拡充し、機能を発揮してグループガバナンスを強化**するとともに**ERM経営をリード**します。

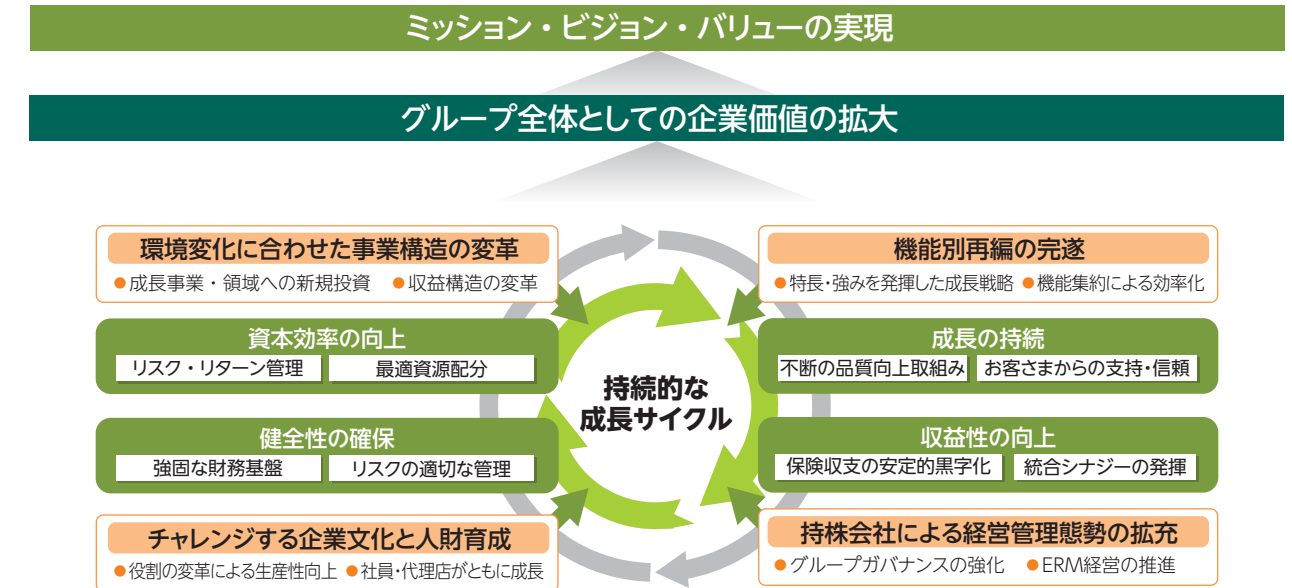
##### グループ

- グループとして、**資本効率が高く成長性のある事業・領域への新規投資**を実施します。
- グループ全社を挙げて、**人財育成と役割の変革・高度化**による組織生産性の向上を推進します。
- ステークホルダーとのコミュニケーションを基軸に、**商品・サービスの品質向上を通じ信頼を獲得**するとともに、**社会的課題の解決に貢献**します。

##### ERM経営の推進

- リスク・リターン・資本のバランスを勘案した、**フォワードルッキングなERM経営を推進**します。
- リスク選好の枠組み、ORSA<sup>(※2)</sup>プロセスを活用したERMサイクルの構築による経営管理をすすめます。
  - リスク管理の一段の高度化を図り、国際的な資本規制・監督強化に対応します。

#### ■グループ基本戦略の全体像



#### ■機能別再編計画

保険業法改正で可能となった過去に例のないスタイルによるグループ内再編にチャレンジし、スピード感をもって、グループとして一段の進化を図ります。

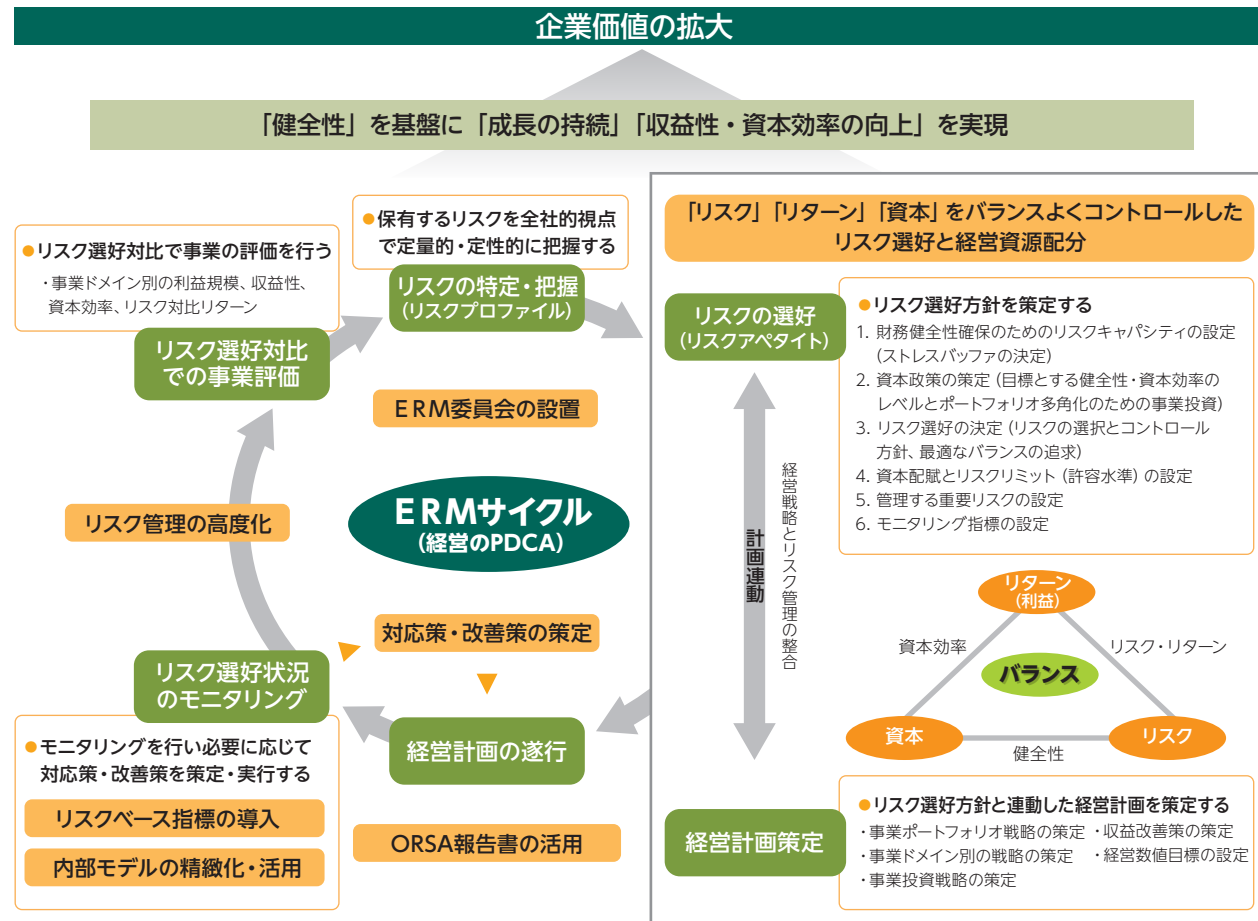
##### グループの持続的な成長と企業価値の拡大

- グループ全体での「成長」と「効率化」の実現
- 多様化するお客さまニーズへの対応を図るため、中核損保2社の特長を最大限発揮
- 持株会社を中心としたグループガバナンス態勢の強化

(※1) ERM: Enterprise Risk Management 統合的リスク管理、全社的リスク管理  
(※2) ORSA: Own Risk and Solvency Assessment リスクとソルベンシーの自己評価

## ERM経営の推進

グループが保有するリスクを全社的視点で定量的・定性的に把握し、その特性を踏まえ「リスク」「リターン」「資本」をバランスよくコントロールしたリスク選好に基づく経営資源の配分を行い、「健全性」を基盤に「成長の持続」と「収益性・資本効率の向上」を実現し、企業価値の拡大を目指します。



## グループ経営数値目標

目標項目	2013年度実績	2015年度目標	2017年度目標
グループコア利益 <sup>※1</sup>	948億円	1,200億円	1,600億円
国内損保事業	478億円	760億円	1,000億円
国内生保事業	244億円	130億円	160億円
海外保険事業	180億円	270億円	390億円
金融サービス事業 リスク関連サービス事業	44億円	40億円	50億円
連結正味収入保険料	28,095億円	30,000億円	31,000億円
損保コンバインドレシオ	98.2%	95%水準	95%以下
三井住友海上あいおい生命EV増加額	916億円	400億円超	450億円超
グループROE <sup>※2</sup>	4.5%	5.4%	7.0%

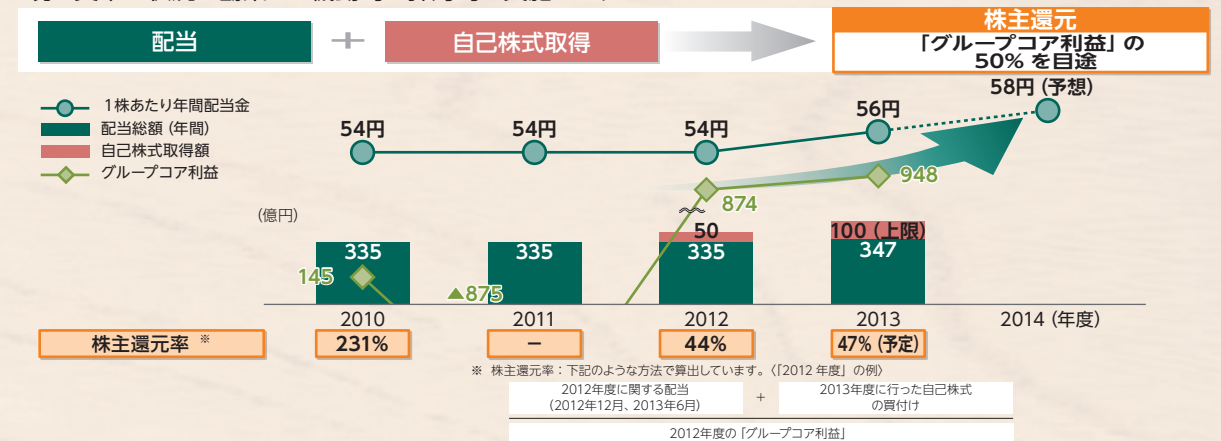
将来利益も含めた経済価値ベースの指標として、「三井住友海上あいおい生命のEV増加額」を新たに経営数値目標に追加。

※1 グループコア利益＝連結当期利益－株式キャピタル損益(売却損益・評価損)－クレジットデリバティブ評価損益－特殊要因(特別損益等)＋非連結グループ会社持分利益

※2 グループROE＝グループコア利益÷連結純資産(期初・期末平均、除く少数株主持分)

## 株主還元方針について

グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」では、成長の持続、健全性の確保、および収益性と資本効率の向上を基軸に、グループ全体としての企業価値を拡大させることを謳っています。具体的な株主還元としては、中期的に「グループコア利益」の50%を毎年に株主還元を行ってまいります。また、配当水準は安定性維持を基本とし、収益力をさらに高めて中期的に増配基調を目指すとともに、自己株式の取得は、市場環境・資本の状況も勘案して機動的・弾力的に実施します。



## 業績ダイジェスト (2013年度通期)

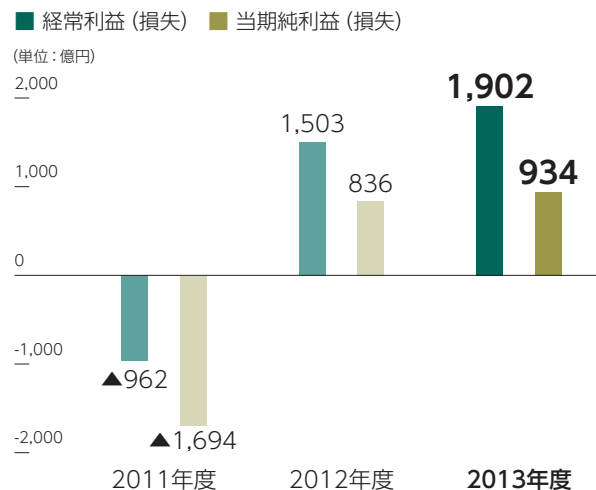
## MS &amp; ADホールディングスの状況 (連結)

当期の連結業績につきましては、保険引受収益が3兆7,069億円、資産運用収益が6,459億円、その他経常収益が98億円となり、これらを合計した経常収益は4兆3,627億円と前期に比べて1.1%の増加となりました。

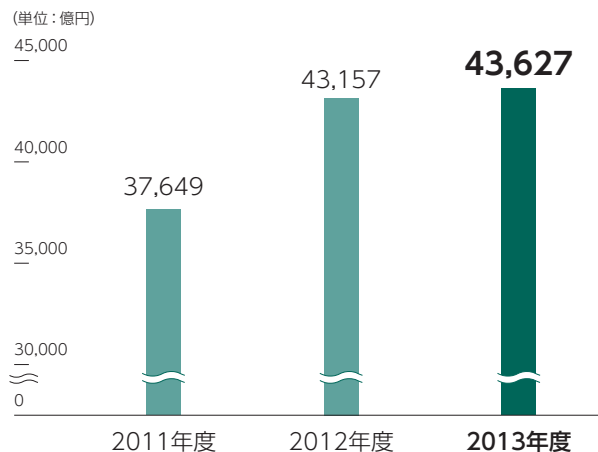
経常利益は、保険料の増収による保険引受収益の増加に加え、有価証券評価損の減少を主因として資産運用面の損益が改善したことなどから、前期に比べて399億円増加し、1,902億円となりました。

経常利益に特別損益、法人税及び住民税などを加減した当期純利益は、前期に比べて98億円増加し、934億円となりました。

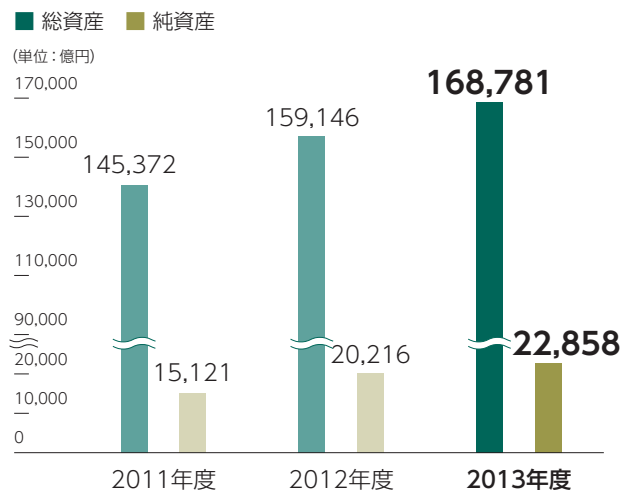
## 経常利益 (損失) / 当期純利益 (損失)



## 経常収益



## 総資産 / 純資産



## 事業毎の状況

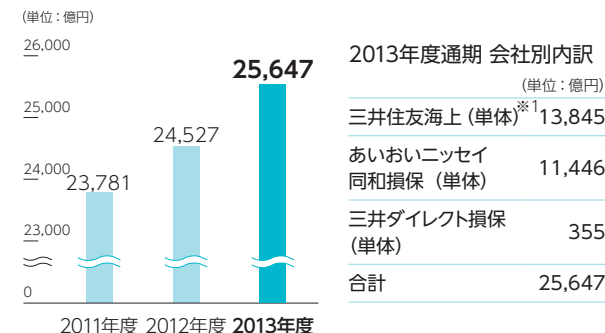
国内損害保険事業において、正味収入保険料は、住宅販売市場の好調などを背景に火災保険が大幅に増収したことや自動車保険も引き続き増収したことを主因に主要損保3社計で、2兆5,647億円と前期比+1,119億円となりました。

国内生命保険事業では、生命保険料は2社計で前期比+3,681億円と41.9%の大幅増収となりました。

海外事業 (海外保険子会社) では、正味収入保険料が2,406億円となり、前期比+544億円の大幅増収となりました。

## 国内損害保険事業

## 正味収入保険料 (主要損保3社計)

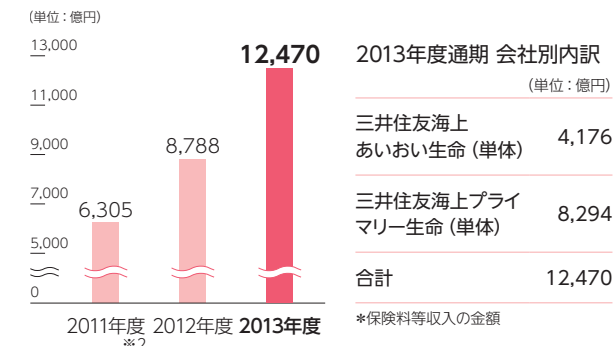


2013年度通期 会社別内訳 (単位: 億円)

三井住友海上 (単体) <sup>※1</sup>	13,845
あいおいニッセイ同和損保 (単体)	11,446
三井ダイレクト損保 (単体)	355
合計	25,647

## 国内生命保険事業

## 生命保険料\* (生保2社計)



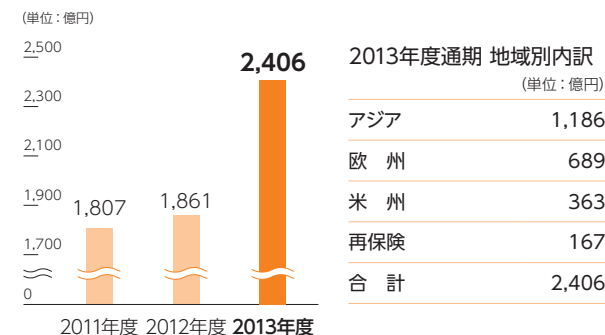
2013年度通期 会社別内訳 (単位: 億円)

三井住友海上	4,176
あいおい生命 (単体)	4,176
三井住友海上プライマリー生命 (単体)	8,294
合計	12,470

\*保険料等収入の金額  
※2

## 海外事業

## 海外保険子会社の正味収入保険料



2013年度通期 地域別内訳 (単位: 億円)

アジア	1,186
欧州	689
米州	363
再保険	167
合計	2,406

## 金融サービス事業・リスク関連事業

金融サービス事業につきましては、三井住友海上やあいおいニッセイ同和損保において、住宅金融支援機構提携ローン「フラット35」の取扱いの拡大や確定拠出年金対応商品の販売に注力いたしました。

リスク関連サービス事業につきましては、株式会社インテリクス総研などにおいて、企業を取り巻く多様なリスクへの対応を支援するコンサルティングの実施やセミナーの開催など、各種サービスを引き続き提供いたしました。

## MS&ADインシュアランス グループの機能別再編に関する新聞広告

2014年1月末から2月の3週にわたり、MS&ADインシュアランス グループの機能別再編に関する新聞広告を展開しました。

「機能別再編」とは、昨年3月の改正保険業法施行により可能になった「保険契約の移転」や「保険募集の再委託」を活用したもので、過去に例のない全く新しいビジネスモデルとなります。

この広告は、2014年度から本格化する機能別再編の内容や実現する価値をお客さまにご理解いただくために制作し、新聞各紙に掲載しました。具体的なコンセプトは以下の通りです。機能別再編という前例のない取り組みについて、今後わかりやすくお伝えしていきたいと考えております。

### 第1弾新聞広告 1/30 1/31 掲載



全国紙（読売・朝日・日経・毎日・産経）  
地方紙35紙  
ブロック紙（北海道・中目・西日本）

「すべてを守るために、挑む。」というスローガンにより、機能別再編による経営革新のチャレンジ性を訴求するとともに、グループ国内保険会社5社の一体感を、クロスハンドで表現しています。

### 第2弾新聞広告 2/6 2/7 掲載



地方紙36紙  
ブロック紙（北海道・中目・西日本）  
全国紙（読売・朝日〈東京・大阪地域版〉）

「さりげなく、そばにいる。保険の安心の、それが理想です。」というメッセージと、地平線や水平線が繋がった格子状の写真により、全国津々浦々の地域において、お客さま・代理店・保険会社がよりコミュニケーションを取りやすい体制になることを表現しています。

### 第3弾新聞広告 2/13 2/14 掲載



地方紙36紙  
ブロック紙（北海道・中目・西日本）  
全国紙（読売・朝日〈東京・大阪地域版〉）

記事風広告スタイルで機能別再編の内容を説明するとともに、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の本部長が担当するエリアの紙面に登場し、機能別再編へのメッセージを掲載することで両社の一体感を訴求しています。

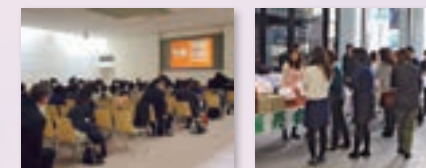
## トピックス

### 東日本大震災の復興支援

東日本大震災の発生から3年が経過しましたが、今なお被災地は復興の途上にあります。MS&ADインシュアランス グループでは、被災地の復興支援を継続しています。

2014年3月11日、三井住友海上、三井ダイレクト損保、三井住友海上あいおい生命、三井住友海上プライマリー生命は、他社と共催で東日本大震災復興支援ドキュメンタリー映画『生き抜く 南三陸町 人々の一年』の上映会を三井住友海上本社ビルで開催しました。3月24日には、あいおいニッセイ同和損保が、福島市にて地域の皆さまをご招待してフルートアンサンブルのグループ「LYNX」による復興支援コンサートを開催しました。

また、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井住友海上あいおい生命、三井住友海上プライマリー生命では、各本社ビルで復興支援の特産品販売会等を実施しました。



上映会

販売会



コンサート

### 熱帯林再生の取り組み

三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保では、紙資源の節約となる「eco保険証券」「Web約款」等の取り組みを、アジアでの熱帯林の再生につなげています。

三井住友海上では、2005年よりインドネシア林業省と連携し、不法伐採により劣化したパリアン野生動物保護林の修復と再生を行っています。350ヘクタールの土地への約30万本の植樹のほか、地元住民の経済的自立を目的とした農業技術指導など、継続的な支援を実施しています。2014年4月には、インドネシアの国会議員団等の視察を受け、他地域に対する森林修復の見本であるとの高い評価を得ています。この経験を活かして、2012年からは同じジャワ島にあるメラピ国立公園でも、国際協力機構（JICA）と協働で、荒廃地回復プロジェクトを推進しています。



農業技術指導での収穫の様子

あいおいニッセイ同和損保では、2010年10月よりフィリピンにおける森林再生活動に取り組む一般社団法人「more trees」への寄付を行っています。寄付はフィリピン ルソン島北部 キリノ州の植林活動に活用されています。活動地域一帯は、フィリピンに生息する生物種の45%が生息しているといわれています。その生態系の保全のため、在来種を中心とした植林活動を行い、その後も適切な森林管理を推進することで、生物多様性の保全にも貢献しています。また、果樹も同時に育てることで、収穫した果実の販売による現金収入の機会を創出するなど、地域の貧困削減も目指しています。



苗木を植える様子

## 会社概要／役員／株式の状況

### 会社概要 (2014年3月31日現在)

社名	MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
設立	平成20年(2008年)4月1日
資本金	1,000億円
従業員数	37,055名(連結)

### 役員 (2014年6月23日現在)

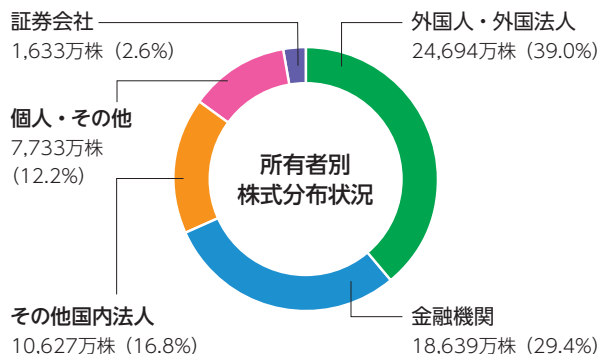
取締役会長(代表取締役)	会長執行役員	鈴木 久仁
取締役社長(代表取締役)	社長執行役員	柄澤 康喜
取締役(代表取締役)	執行役員	江頭 敏明
取締役(代表取締役)	執行役員	土屋 光弘
取締役	副社長執行役員	藤本 進
	専務執行役員	田中 敏彦
取締役	専務執行役員	藤井 史朗
	執行役員	西方 正明
取締役	執行役員	金杉 恭三
取締役	執行役員	柳川 南平
	執行役員	上野 晋
	執行役員	三浦 浩
取締役	執行役員	宇井 純一
	執行役員	吉川 哲也
	執行役員	松本 雅弘
	執行役員	平野 幹人
社外取締役		渡邊 顯
社外取締役		角田 大憲
社外取締役		小川 是
社外取締役		松永 真理
監査役(常勤)		池田 克朗
監査役(常勤)		吉野 二良
社外監査役		安田 莊助
社外監査役		野村 晋右
社外監査役		手塚 裕之

### 株式の状況 (2014年3月31日現在)

■発行済株式の総数	633,291,754株
■株主数	70,917名
■大株主状況(上位10名)	

株主名	保有株式数(万株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	5,261	8.3
日本生命保険相互会社	3,632	5.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,737	4.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,592	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,240	3.5
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,231	1.9
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	990	1.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	834	1.3
NATSCUMCO	674	1.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	643	1.0

※ 当社は自己株式1,338万株を保有していますが、上記大株主から除いています。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社および 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。 <a href="http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html">http://www.ms-ad-hd.com/ir/notification/index.html</a>

### お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711

### 株式に関するお手続きについて

- お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き  
三井住友信託銀行までお申し出ください。  
なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。
- その他のお手続き
  - 証券会社に口座をお持ちの場合  
お取り引きの証券会社へお申し出ください。
  - 証券会社に口座をお持ちでない場合  
特別口座での管理となっておりますので、三井住友信託銀行または三菱UFJ信託銀行へお申し出ください。

#### 【お手続きの例】

- ご住所の変更
- 今後の配当金受取口座のご指定  
配当金領収証でのお受け取りのほか、口座等への振込のご指定もできます。
- 単元未満株式の買取・買増のご請求  
証券取引所で売買できない、100株未満の株式(単元未満株式)につきましては、買取・買増のご請求により整理することができます。

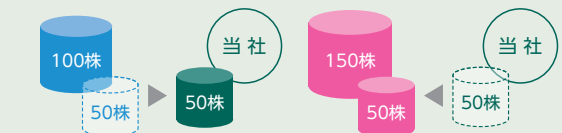
#### ● 例えば… 当社株式を150株ご所有の場合

買取請求 当社に株式の買取をご請求 いただく方法	買増請求 当社から株式を買い増して 100株単位としていただく方法
--------------------------------	---

株主さまのご所有の150株のうち、当社が50株を買い取ります。え、当社から50株を買い増します。

▶ 株主さまのご所有の株式は100株となります。

▶ 株主さまのご所有の株式は200株となります。



- 特別口座からの振替手続き  
特別口座の株式につきましては、単元未満株式の買取・買増のご請求のほかは売買ができませんので、証券会社に開設された口座への振替をお勧めします。



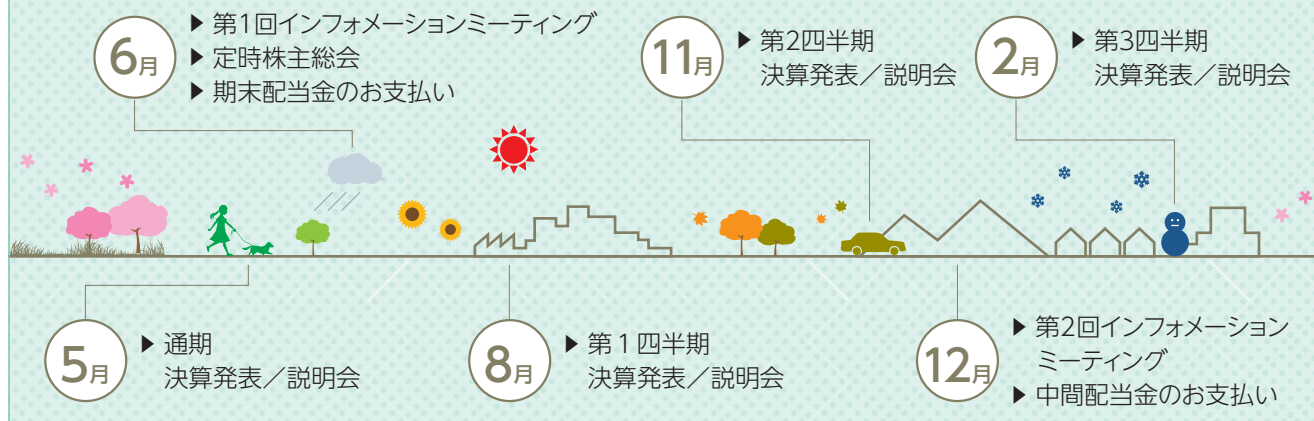


**MS&ADインシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています!!**

**MS&ADインシュアランスグループは日本代表チームのサポーターングカンパニーです。**



## 年間IRスケジュール (予定)



## WEBサイトのご案内

<http://www.ms-ad-hd.com>

MSAD

検索



当社WEBサイトでは、株主・投資家の皆さまへのIR情報・財務情報をはじめ、最新のニュースや社会貢献活動への取組みなど、さまざまな情報を掲載しております。また、Eメールアドレスをご登録いただいた皆さまには、ニュースリリースをお知らせしておりますので、是非ご利用ください。

立ちどまらない保険。

**MS&AD MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社**

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

表紙の写真：北海道西神楽町（北海道 旭川市）

